

久留米工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	韓国語	
科目基礎情報							
科目番号		5AG02		科目区分	一般 / 選択		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		機械工学科		対象学年	5		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		『かんたん韓国語』金殷模・權來順・宋貞熹・文慶喆 著 朝日出版社					
担当教員		金 兌妍					
到達目標							
韓国語のコミュニケーション能力を高めるための基礎を築く。ハングル文字を正しく読み書きすることができ、異文化に関する理解を深める。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		ハングル文字が読める、正確な発音が出せる、書ける。		100%ではないが、ある程度ハングル文字が読める、発音できる、書ける。		ハングル文字が読めない、書けない。	
評価項目2		学習した語彙を正確に読める、書ける。		学習した語彙をある程度、読める、書ける。		学習した語彙が読めない、書けない。	
評価項目3		学習した内容を応用して簡単な文を作り出すことができる。		少し間違いはあるが、文を作り出すことができる。		文を作り出すことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
JABEE A-1 JABEE G-2							
教育方法等							
概要		本授業では韓国語のコミュニケーション能力を高めるための基礎を築く。入門のクラスであるため、韓国語の文字、語彙、文法を中心に授業を行う、言語は人が住む社会や文化と深く関わっているため、互いの異なる言語や文化にも触れるようになり、異文化に関する理解を深めることができる。					
授業の進め方・方法		毎回の授業は教科書の内容を中心に進める。学習を効果的なものにするために授業中にはグループメンバと協力して、練習する。視聴覚教材を利用することもある。					
注意点		・対面授業を行う場合、定期試験50%、中間試験30%、授業態度・授業への参加を20%とする。 ・オンライン授業を行う場合、毎回の課題50%、中間試験30%、授業態度・授業への参加を20%とする。 ・60点以上を合格とする。 ・再試を行う。 ・指定した教科書のページを事前に読んでおくこと。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	シラバスを基に本授業に対する全体的な説明を行う。韓国語とは何かについて学ぶ。		韓国という国と韓国語とは何かについて説明できる。		
		2週	基本母音について学ぶ。		基本母音を順番に覚えて書くことができる。		
		3週	基本子音について学ぶ。		基本母音を順番に覚えて書くことができる。		
		4週	子音の激音と濃音について学ぶ。		子音の激音と濃音が発音できる。書ける。		
		5週	合成母音について学ぶ。		合成母音が発音できる。書ける。		
		6週	パッチム () について学ぶ。		パッチムが発音できる。書ける。聞いて区別できる。		
		7週	中間テスト		母音、子音、パッチムを組み合わせた文字が読める。聞いてわかる。書ける。		
		8週	韓国映画鑑賞。		映画を通じて、韓国人の考えや韓国文化を体験する。		
	2ndQ	9週	第1課 韓国人ですか。名詞文の叙述・疑問について学ぶ。		韓国語で簡単な自己紹介ができる。		
		10週	第2課 学生ですか。名詞文の叙述・疑問について学ぶ。		国籍、名前、学年などについて質問、答えることができる。		
		11週	第2課 学生ですか。「漢数字」を覚える。		誕生日、電話番号、値段などについて質問、答えることができる。		
		12週	第3課 何時ですか。「固有数字」を覚える。時間の言い方について学ぶ。		年齢や時間などについて質問、答えることができる。		
		13週	第4課 野球選手ではありません。名詞文の否定について学ぶ。		間違っている情報について否定することができる。		
		14週	第5課 これはなんですか。指示代名詞を学ぶ。		これ、それ、あれ、どれの指示代名詞を使って質問、答えることができる。		
		15週	第6課 どこにありますか。存在を表す表現を学ぶ。		ある、ないの存在を表す表現を使って質問、答えることができる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	20	0	0	100
基礎的能力	50	0	0	20	0	0	70
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0